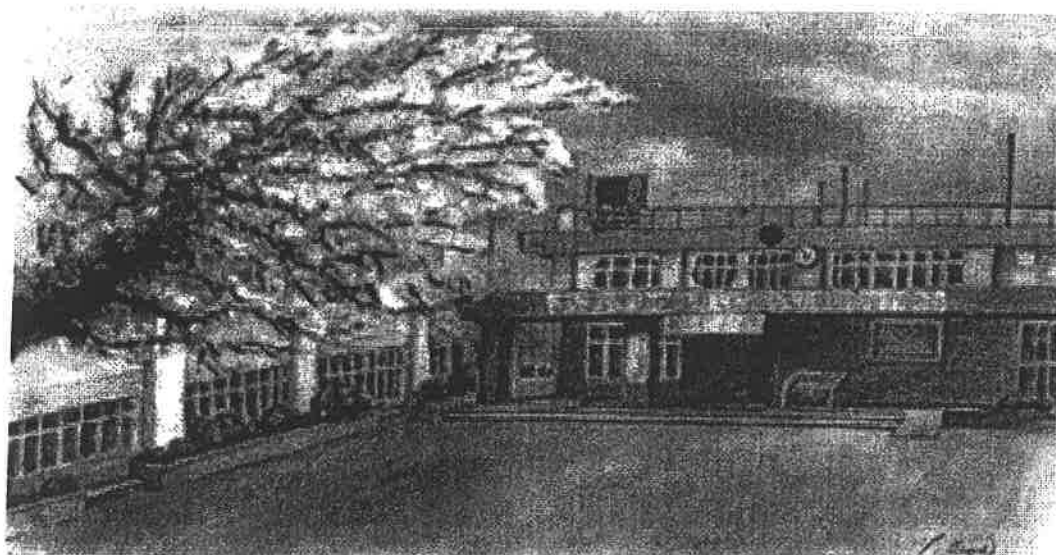


平成30年度 児童・保護者アンケート 集計・考察



黒石市立中郷小学校

保護者アンケートの結果

(グラフの下の指数は4点満点とした時の平均値 昨年度より0.2以上の変化があった場合に、↑↓を付けている)

■ 4=よくあてはまる ■ 3=あてはまる ■ 2=あまりあてはまらない ■ 1=まったくあてはまらない

内容	グラフ	内容	グラフ	内容	グラフ
① 校 子 ど も は は り き つ て 登 校 し て い る 。		② 努 力 を 持 ち て い る 。		③ 応 し よ う と な り に 努 め て い る 。	
平均値→	昨年度3.3 今年度3.3		昨年度3.0 今年度3.0		昨年度3.3 今年度3.4
④ 子 ど も は 学 校 を 信 頼 し て い る 。		⑤ 勉 強 を 教 え て く れ て い る 。		⑥ 学 習 に 取 り 組 み を も つ て い る 。	
	昨年度3.3 今年度3.3		昨年度3.3 今年度3.4		昨年度3.2 今年度3.2
⑦ 子 ど も は 毎 日 家 庭 学 習 を 行 っ て い る 。		⑧ あ い さ つ を し て い る 。		⑨ い ま も 進 ん で い る 。	
	昨年度3.3 今年度3.3		昨年度3.0 今年度3.1		昨年度3.0 今年度3.0
⑩ 行 っ て い る 。		⑪ て し て い る 。		⑫ 行 っ て い る 。	
	昨年度3.5 今年度3.4		昨年度3.1 今年度3.1		昨年度3.6 今年度3.6
⑬ 子 ど も は 力 づ く り を し て い る 。		⑭ て し て い る 。		⑮ だ ち が い る 。	
	昨年度3.1 今年度3.1		昨年度3.2 今年度3.2		昨年度3.6 今年度3.6

<p>居⑮ 心子 地ども よは いと自 とい分 つての い学 が級 が</p>		<p>好⑰ き子 だども とは 感じ中 ている郷 。小学 校が</p>		<p>飯早⑱ 「起我が をき家 実践し しては てか、 り朝「早 。寝</p>	
<p>昨年度3.3 今年度3.3</p>		<p>昨年度3.4 今年度3.4</p>		<p>昨年度3.2 今年度3.2</p>	
<p>よ出⑲ く我が 会事家 話にで しては いて、 。学 校子 での</p>		<p>持⑳ つ子 つども はは 。将来 の夢を</p>		<p>育の㉑ 活願学 動い校 にをで はは かく保 し護者 てしや 。地 域</p>	
<p>昨年度3.4 今年度3.3</p>		<p>昨年度3.2 今年度3.1</p>		<p>昨年度3.1 今年度3.1</p>	
<p>く通㉒ 分ど各 か教て る育種 。活学 。動校 の行た 子事よ や参り が授観 よ業を</p>		<p>いや㉓ る相学 。談校 には 親は 身保 対護 し者 の悩 み</p>		<p>る取確㉔ 。組保学 。やや校 指健は 導康、 を管子 行理ど つもの ため安 全</p>	
<p>昨年度3.4 今年度3.5</p>		<p>昨年度3.3 今年度3.3</p>		<p>昨年度3.4 今年度3.4</p>	
<p>るれ㉕ 。通学 安全路 がは 確保適 切に切 に設に 定さ定 いさ</p>					
<p>昨年度2.9 今年度3.0</p>					

【分析】

- 共通して評価の高い項目・・・「㉑学校では業間マラソン、体育の授業などで体力づくりを適切に行っている」「㉕子どもには仲の良い友達がいる」「㉒各種おたよりや参観を通じて、学校行事や授業など教育活動の様子がよくわかる」
- 共通して評価の低い項目・・・「㉒子どもは学校生活に目標を持ち、それに向かい努力している」「㉑子どもは家庭で進んであいさつをしている」「㉓子どもは学校や地域でも進んであいさつをしている」「㉕通学路は適切に設定され、安全が確保されている」

●下学年ほど評価の高い項目・・・「㉑子どもは家庭で進んであいさつしている。㉑学校では業間マラソン、体育の授業などで体力づくりを適切に行っている」

【考察】◎これらの結果と児童アンケートの同設問との相関から総合的に以下のように捉えている。

- 1 総合評価が平均3.3Pというは、まずまずのよい評価ではあるが、より4に近い平均3.5Pに近づけたい。
- 2 あいさつや決まりを守ること等の基本的な生活習慣の確立が不十分であると感じている。
- 3 業間マラソンは頑張っていると感じている。
- 4 学年が上がるにつれて学習に消極的になる一方で、家庭学習は上学年ほど努力していると感じている。
- 5 昨年度と比べ、子どもと保護者の同内容設問に対する回答に大きな差が見られないことから、子どもの意識を正しく受け取っている保護者が増えたと考えられる。今年度は、学校HPやブログ、各種通信を通して教育活動や児童の姿を積極的に発信してきたことがプラスに働いたと設問㉒の結果からも考えられる。
- 6 通学路の安全に対する評価は大変低く、危機感を感じているのがわかる。通学路の整備に関しては保護者・地域の方々との連携、自分の命を自分で守るための安全教育についても、学校・家庭教育との両面でのアプローチが必要である。

30年度 保護者アンケート自由記述の内容と回答

No	内 容	回 答
1	子どもは先生が怖いと言ひ、学校が楽しいと言わない。また、放課後の学習についても日が暮れるのが早くなっており、帰りも一人になることが多く、心配です。	<p>学習規律がしっかりしていないと、授業はもちろん生活習慣も身に付かず、学校生活全体がどんよりし、これもまた「学校が楽しくない」ということにつながります。特に低学年ではよい学習習慣を身に付けさせることが重要です。ただ、子ども園や幼稚園とのギャップへの戸惑いや違いへの適応はストレスになるのも十分理解しています。その点をより考慮しながら、子どもたちの実態に合わせた指導を進めていきます。</p> <p>今年度から、個に応じた補充指導時間の確保として4時までを設定しております。秋以降は、4時を過ぎると暗くなることもあり、低学年の子どもの場合、まとまって何人かで帰りなさいという指導や上学年児童の付き添いをお願いをするなどの配慮をしていきたいと思ひます。</p>
2	先生にはとてもお世話になってます。とてもよい先生なので、来年も担任になってほしいと思ひています。	<p>ありがとうございます。来年度の担任についてはご回答できませんが、どの教職員もそれぞれに思いや願ひをもって、日々指導にあたっています。まだまだ不十分な点もありますので、保護者の皆様のご理解ご協力と、教育活動の質的向上へのご指摘をもとにさらなる改善につなげていきます。</p>
3	来年も同じ先生に担任になって欲しいです。	
4	担任の先生をはじめ、学校が大好きで毎日通っています。勉強はさておき、友達とたくさん遊び、走り回ったりがとても好きな子供らしいところをもっていますので、それは、理解ある先生方やよい環境であるという証拠ではないでしょうか。本当に感謝しかありません。ありがとうございます。	
5	日々、子どもたちの成長していく様子を実感しておりますが、これも全て中郷小学校の教職員の皆様のお陰だと思ひます。御礼申し上げます。	
6	担任の先生を信頼し、毎日楽しそうに登校する姿を見ると安心します。信頼関係を築き、目標をもつて生活できるよう継続して頂ければと思ひます。	
7	安心して登校できる信頼のもてる学校だと思ひています。感謝しております。	ありがとうございます。今後も子どもたちのみならず、保護者・地域住民・職員みんなにとって安心・安全な学校づくりを目指して参ります。
8	業間マラソンはとてもいいと思ひます。	ありがとうございます。体力向上・健康意識向上に向けて来年度も取り組む予定です。
9	各新聞や連絡帳で、いろいろな情報がわかり、助かっております。	<p>ありがとうございます。各種おたより・連絡帳、その他HPやブログなども活用し、子どもたちの活動の様子をどんどん発信していきたいと思ひます。</p>
10	ブログで学校の様子をUPしてくれるので、今後も続けて欲しいです。	
11	先日の平川市の窃盗犯逃走などの情報も、一斉メールで配信していただければと思ひます。	不審者に関するメールについては、随時発信しておりますし、今後も同様に進めていきます。平川市の事件に関しましては、学校に連絡が届いたのが職員退職後であったため対応できませんでした。すみません。
12	いじめに対してお互いの話をちゃんと聞いて、弱い立場の子を守って欲しい。いじめをしている子の親にもちゃんと話をして欲しい。人の痛みわかるような子に教育して欲しい。	<p>いじめに関して、相談ボックスや教育相談、教職員の観察、子どもや保護者からの情報提供、各種アンケート等で早期発見・早期対応に組織的に努めています。いじめを認知した場合は、速やかに全体で事実確認と組織的対応ということで進めています。その中で、「いじめは絶対許さない」「いじめられている子を守る」という大原則で進めてはいますが、当事者からの聴き取りや必要な説明の際に、子どもに寄り添った共感的なやりとりや傾聴が不十分なことがあったかも知れません。その点を反省しながらカウンセリングマインドで対応するとともに、道徳教育を充実させ多様性を容認し合えるような学校づくりを進めていきます。</p>
13	もう少し、子どもの話を真剣に受け止めて欲しい。	

No	内 容	回 答
14	参観日に感じるのですが、授業中に授業の妨げとなる発言をする児童が多くなってきた気がします。	<p>授業中に意図的に妨害することについては、当然他の児童の学習権を守るためにも、指導してやめさせることが必要です。教師の指導力の不足によってそういう状況になっているのであれば、すぐに授業改善や学級経営の見直しが必要です。</p> <p>ただ、子どもの中には授業を妨害するような発言がよくないと理解していながら、それを発言してしまう子や全く悪気はないが発言自体の他人への影響度が理解できなくて発言してしまう子もいます。自分の行動自体をコントロールできにくい子もいます。</p> <p>学校では、そういう特性を把握し、本人や友だち、その保護者のみなさんの「一人一人のもつ多様性」についてご理解ご協力いただきながら教育活動を進めているところです。</p> <p>ただ、それに便乗しているだけの児童がいたり、多様な特性をもつ子どもたちは理解ができない、認められないという子どもや保護者の方がいたりすることも十分考えられます。インクルーシブ教育の推進をもっともっと進めていけるよう努力していきます。</p>
15	再来年、閉校にあたって校舎に何かの形で、「今まで子どもたちを見守ってくれてありがとう」という感謝の気持ちを伝えられたらいいなあと思います。子どもたちにとっても歴史の古さに触れる機会になればいいなあと思います。	<p>来年度、閉校式典等に関わり、校舎内の掲示物を含めて様々な取組を考えています。ご意見にありますように、「今まで子どもたちを見守ってくれてありがとう」という感謝の気持ちを伝えられたらいいなあと思います。具体的な取組案がありましたらお知らせ下さい。</p>
16	毎年感染症の流行があり、食事前だけでも手指消毒はできないでしょうか。（アルコールアレルギーのある場合を除いて）	<p>学校では、どの感染症にも有効な方法として、丁寧な手洗いを行わせています。アルコール消毒は、インフルエンザには有効ですが、ノロウイルスには効果がないと言われてますし、常時設置しておくのは他の危険要因（自分の目に入る・友だちの目に入れてしまった・手に切り傷があるのに使用する等）があるので、今後も丁寧な手洗い指導を継続していきます。</p>
17	4年生に進級し、学習面・生活面だけでなく表現力・発表力、子どもたちが自立的に学校生活を送ろうとする態度を育ててくれたことに深く感謝しております。現4年生は、6年生の時に学校統合を控えておりますので、5年生・6年生とクラス編制が行われていくと思いますが、子どもの負担軽減の観点から、閉校まではクラスを据え置きにするということは可能でしょうか。検討をお願いいたします。	<p>ご指摘の点も含め、統合前のクラス編制についてより効果的なものになるよう、関係職員からのヒアリングをもとに様々な方策を検討しました。結果としては、これまで通りクラス編制替えを行うことにしました。現4年生の実態や学習内容の難易度が急に高まる高学年となるという状況を踏まえ、主に学習面に関して均等化を図る必要があるという結論に達しました。</p>
18	学習・学級に関しては問題ありませんが、部活動の顧問に不信感があると思う。	
19	学校では、子どもの事を良く見てくれていると思います。うちの子どもについては、特に対応に問題があるとは思いませんが、他の親から部活動の際、子どもたちが対応の差を感じているという話を聞きました。先生方も頑張って指導されているので、そういう話を聞いて少し残念に思いました。（子どもたちのやる気の問題もあると思いますし、競技によってもいろいろとあると思うので、自分としては理解していますが。）	<p>部活動での具体的な場面が把握できませんが、指導や対応に不十分な点があつてのことと思います。来年度から部活動はありませんが、他の指導場面に於いても、よりきめ細やかな対応や説明を行い、納得しながらの活動になるよう一層配慮していきます。</p>
20	発達障害児の理解や対応に努めて欲しいと思っています。担任の先生と通級の先生以外の先生方を信じ切れていない。他にも頼れる先生が増えてくれると幸いです。	<p>特別支援教育に関する研修会については、学校全体・個人で積極的に参加し研修を通して理解促進を図っています。ただ、個々の多様なケースに対応し切れていないのも事実です。今後一層、研修及び日々の子どものこととの関わりの中で、個々の教育ニーズに対応できるよう努力していきます。</p>
21	子どもたちの中で、遊び半分での暴力行為があります。（校内で）先生方も大変だとは思いますが、見回りなど考えてみてください。	<p>暴力行為に遊び半分はありませんので、把握したものは即対応していきます。授業中は、校長・教頭をはじめ通級指導教室の教職員も可能な限り交替で巡回をしています。ただ、休み時間に教室以外の場所となると把握が困難な場合もあるかと思いますが、検討して対応していきたいと思えます。</p>
22	記名式だと意見が言いにくい人もいると思います。（今回、私たちはありませんが）	<p>記述内容によっては、個別具体的に対応しなければならないこともありますので、記名式としております。</p>
23	学習発表会、楽しく拝見させていただきました。最後の全校児童の合唱に一生懸命さが伝わり、感動しました。来年度以降も、ぜひ続けて欲しいです。中小ブログも楽しみにしています。写真がキレイで見応えがあります。	<p>ありがとうございます。子どもたちの素晴らしい姿に教職員もみな感動させられた学習発表会でした。ただ、来年度はほぼ同時期に閉校記念式典等の記念行事や記念誌発行作業等があり、今年度のような学習発表会は行いません。参観日を活用しての全校合唱や各学年での学習発表のような形になるかと思えますので、ぜひご覧いただきたいと思えます。</p>
24	今年の学習発表会は見応えがありました。先生方のご指導あつての成功だったと感じています。ありがとうございます。	

児童アンケートの結果

↑↓は昨年度と比べて0.2ポイント以上の変化があるところ

4=よくあてはまる 3=あてはまる 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

内容	グラフ	内容	グラフ	内容	グラフ
く①学校に来ることを楽しんで思っている。		る②自分で学校生活に目標を持つて取り組んでいる。		く③先生は自分のことをよく理解してくれている。	
平均値→	昨年度3.4 今年度3.4		昨年度3.3 今年度3.3		昨年度3.6 今年度3.6
い④自分は先生の言うことをよく聞いて努力している。		強⑤先生は分かりやすく勉強を教えてください。		り⑥自分は真剣に授業に取り組んでいる。	
平均値→	昨年度3.4 今年度3.4		昨年度3.8 今年度3.8		昨年度3.4 今年度3.4
行⑦自分では家庭学習を毎日行っている。		あい⑧自分は家庭では進んでいさつをしている。		あい⑨自分は学校では進んでいさつをしている。	
平均値→	昨年度3.5 今年度3.4		昨年度3.2 今年度3.3		昨年度3.4 今年度3.4
る⑩先生はまわりを大切に守ってくれる。		つ⑪自分学校のまわりを大切に守る。		る⑫先生は授業などマラソンや体育の大切さを教えてくれる。	
平均値→	昨年度3.8 今年度3.9		昨年度3.3 今年度3.3		昨年度3.7 今年度3.8
ため⑬自分は業間でマラソンがあてはまる。		い⑭活動、その生懸命に話をする。		が⑮学校には仲のよい友達がい。	
平均値→	昨年度3.6 今年度3.5		昨年度3.5 今年度3.4		昨年度3.8 今年度3.9

<p>⑯ 自分の学級がすきだ。</p> <p>昨年度3.5 今年度3.5</p>	<p>⑰ 自分は中郷小学校がすきだ。</p> <p>昨年度3.6 今年度3.6</p>	<p>⑩ 「早寝・早起き・しっかり朝ご飯」を頑張っている。</p> <p>昨年度3.3 今年度3.3</p>
<p>⑲ 学校でやったことは、お家の人に伝えていい。</p> <p>昨年度3.4 今年度3.4</p>	<p>⑳ 将来の夢を持っている。</p> <p>昨年度3.7 今年度3.7</p>	<p>㉑ 学校で、係・委員・役の仕事をするのは将来役に立つ。</p> <p>昨年度3.4 今年度3.6</p>
<p>㉒ 自分は、今の自分が好きだ。</p> <p>昨年度3.0 今年度3.1</p>	<p>㉓ 先生は、健康に生活することを教える。先生は、安全に生活することを教える。先生は、元気な生活をする。</p> <p>昨年度3.8 今年度3.9</p>	

【分析】

●全校的に評価指数の高い項目

- ⑤先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる。
- ⑩先生は、学校のきまりを守ることの大切さを教えてくれる。
- ⑰先生は、業間マラソンや体育の授業などで体力づくりの大切さを教えてくれる。
- ⑮学校には、仲の良い友達がいる。
- ㉓先生は、健康に生活することの大切さや安全に十分気をつけることを教えてくれる。

●全校的に評価指数の低い項目

- ②自分は、学校生活に目標をもって取り組んでいる。
- ⑧自分は、家庭では進んであいさつをしている。
- ⑪自分は、学校のきまりを必ず守るように気をつけている。
- ⑩「早寝・早起き・しっかり朝ご飯」を頑張っている。
- ㉒自分は、今の自分が好きだ。

●低学年ほど高い指数

- ⑥自分は、真剣に授業に取り組んでいる。
- ⑧自分は、家庭では進んであいさつをしている。
- ⑨自分は、学校では進んであいさつをしている。

●高学年ほど高い指数

- ⑪自分は、学校のきまりを必ず守るように気をつけている。

●発達段階等、学年に関係なく学級によってバラツキが目立つ項目

- ②自分は、学校生活に目標をもって取り組んでいる。
- ④自分は、先生の言うことをよく聞いて努力している。
- ⑦自分は、家庭学習を毎日行っている。
- ⑲学校であったことは、お家の人によく伝えている。

【考察】

◎「②・④・⑦・⑧・⑩・⑮・㉒」の項目は、実数にして約34～52人の児童がマイナス評価をしている。総じて見ると、生活習慣が身についておらず、あいさつも含め、家庭でのコミュニケーションが不足している。目標がもてずにいるので、継続や努力の必要なことを嫌い、その結果として指導を受ける場面も増え、自己肯定感の低い状態であると考えられる。

◎「③・⑤・⑩・⑭・⑮・⑰・㉓」の項目は、実数にして約235～250人とほとんどの児童がプラスの評価をしている。先生は自分のことを理解し、勉強や生活のきまりや健康に関し十分教えてくれている。仲良しの友達もいて学校が好きであると感じている。

◎児童理解を基本とした指導と多様性を認め合う学校・学年・学級づくりによって、人間関係づくり、居場所づくりを進め、一人一人の個に応じた適切な自己肯定感を高めていく必要がある。